

DVD貸出リスト

作品名称 (タイトル)	制作年度	製作者	人権課題の分類	作品の概要 (主なストーリー)	上映時間
プレゼント	2003年	(財)人権教育啓発推進センター	子ども	小学校4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りのプレゼントをしたことをキッカケに、美由紀は綾香にいじわるをはじめた。やがてそれはクラス中にも広がり、綾香は学校を休むようになり・・・。	15分
桃色のクレヨン	2004年	(財)人権教育啓発推進センター	障がいのある人	「いとこの雪ちゃんが外国から帰ってくる。」年上のお姉さんにあこがれ、美奈子は学校で自慢をする。しかし、雪は知的障害を持っており、実際はとても幼く見えた。それを隠すために美奈子はみんなに嘘をつくが、バレてしまい仲間はずれにされる・・・。	28分
識字・日本語ドキュメンタリー言葉で輝く	2004年	大阪人権問題映像啓発推進協議会	その他	ビデオ映像「言葉で輝く」は、2003年に始まった「国連識字10年」を機に識字によって生きる力を得ていく人々取材したドキュメント作品です。	100分
未来への虹 ～ぼくのおじさんは、ハンセン病～	2005年	(財)人権教育啓発推進センター	ハンセン病	正太は、平沢さんへのおつかいを頼まれる。はじめて会った平沢さんの容姿に驚く正太に、平沢さんはハンセン病であるために差別を受けてきたことを語る。2年後、再び平沢さんを訪れた正太は、ハンセン病を多くの人に理解してもらいたい。と決意を語る。	30分
人として生きる 長島の一年	2005年	福祉運動・みどりの風	ハンセン病	今もなお療養所で暮らす人びと。89年間の隔離政策は人びとの生き方をどう変えたのか、療養所で暮らす人びとの生活を一年にわたって撮影した記録です。	21分
療養所の中で ハンセン病問題を風化させないために	2005年	福祉運動・みどりの風	ハンセン病	療養所の中で課せられた強制労働、断種・墮胎は人間の尊厳を奪ってしまいました。医療の名のもとに、人の命を奪うという許されない人権侵害が行われていたのです。入所者の二人が、その体験を語ってくれました。	21分
裁判員制度～もしもあなたが選ばれたら～	2005年	法務省	その他	このたび、法務省では、最高裁判所や日本弁護士連合会にも協力をいただいて、「裁判員制度」の広報用ビデオを企画・制作いたしました。このビデオは、裁判員に選ばれた人が一体どのような体験をすることになるのかをドラマ仕立てで紹介するものです。	58分
人権感覚のアンテナって？	2006年	(株)解放出版社	人権全般	「知らない・見えない・考えない」から生み出される偏見や差別、人権侵害について正しく知り、話し合い、学びあうことの大切さ、そして、人権感覚のアンテナを張り、私たちの日常生活における意識と行動を見直す。	39分

作品名称 (タイトル)	制作年度	製作者	人権課題の分類	作品の概要 (主なストーリー)	上映時間
まずは受け入れてみませんか?	2006年	「24時間テレビ」チャリティー委員会	障がいのある人	補助犬使用者の受け入れ方について。2002年5月に成立した「身体障害者補助犬法」は障がいのある人の自立と社会参加を推進するための法律であり、その使用者の受け入れ方についてのガイド。	25分
ケースで学ぶパワー・ハラスメント対応「効果的な指導」との違いを知る	2006年	日本経済新聞社	セクハラ・パワハラ	パワハラのない職場にするために、上司はどのようなコミュニケーションを行うべきか? 上司・部下のタイプ別対応策をドラマ仕立てで解説する。	40分
見上げた青い空	2007年	(財)人権教育啓発推進センター	子ども	いじめを苦にした良太は幼馴染の岸田へ最後のメッセージを残して飛び降り自殺をしてしまう。良太を助けられなかった岸田は、いじめの中心人物に仕立て上げられた上、新たないじめの対象となり、転校をする。しかし、新しい中学にもインターネットや携帯を使ったいじめがあった・・・。 ※この作品は、ドラマに登場した役者がいじめ問題について、それぞれの立場で語るパートがあり、問題解決のヒントが盛り込まれており、作品を見て問題について話し合うことができる。	34分
社会福祉施設等における人権 私たちの声が聴こえますか	2007年	(財)人権教育啓発推進センター	高齢者	近年、高齢化が急速に進行する中で、社会福祉施設等の入所者に対する身体的・心理的虐待等が表面化し、大きな問題となっています。 (中略) ひとり芝居を中心に、施設職員の人権意識を高める必要性・手法等に関する専門家へのインタビューや、人権意識を高める取り組みとして実際に施設内で行われた人権啓発活動の紹介等「どんな行為が入所者の人権を侵害する行為に当たるのか」ということが、自然に理解されるような構成になっている。	30分
補助犬ができること、あなたにできること	2007年	「24時間テレビ」チャリティー委員会	障がいのある人	身体障害者補助犬とは。目や耳、手足などに障がいのある人のために働く盲導犬、聴導犬、介助犬について。	26分
差別意識の解消に向けて	2007年	大阪人権問題映像啓発推進協議会	同和問題	実態のないうわさや風説に基づいて温存されてきた同和地区に対する忌避意識が自分の利害に関係する宅地建物取引に直面した時、どのように具体的な差別行為となって現れるかを考えます。	第1巻29分 第2巻23分 第3巻24分
家族からひきはなされて みんなで考えようハンセン病問題	2007年	福祉運動・みどりの風	ハンセン病	療養所にいた子どもたちは、今もなお、ふるさとや家族のもとに帰れずにいます。この事実を歴史と証言から学ぶため活用いただく教材です。	19分

作品名称 (タイトル)	制作年度	製作者	人権課題の分類	作品の概要 (主なストーリー)	上映時間
拉致～許されざる行為～北朝鮮による日本人拉致の悲劇	2007年	拉致問題対策本部	拉致問題	対応言語：日本語、英語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語、ロシア語、イタリア語、ドイツ語 1970年頃から80年頃にかけて、北朝鮮による日本人拉致が多発しました。現在17名が政府により拉致被害者として認定されています。 平成14年9月に北朝鮮は日本人拉致を認め、同年10月に5人の被害者が帰国しましたが、他の被害者については、未だ北朝鮮から納得のいく説明はありません。北朝鮮は「拉致問題は解決済み」としていますが、北朝鮮側の主張には多くの問題点があることから、日本政府としてはこうした主張を受け入れることはできません。 拉致問題は、我が国の国家主権及び国民の生活と安全に関わる重大な問題であり、この問題の解決なくして日朝の国交正常化はあり得ません。このDVDは、この許されない行為について、日本国政府が作成し解説したものです。	ダイジェスト8分 通常21分
一人ひとりの世界人権宣言	2008年	大阪人権問題映像啓発推進協議会	人権全般	「世界人権宣言」採択の経緯や人権尊重の精神などを学び、その精神が日常生活においてどのようにいかされるべきか、身近な活動事例の紹介をとおして「世界人権宣言」を知り、実感してもらい、人権についての理解と知識を深めてもらう内容となっています。	39分
介助犬ってなあに？	2008年	「24時間テレビ」チャリティー委員会	障がいのある人	障害者向けガイドビデオ。介助犬の希望から、申請、訓練事業者の選択、認定に至るまで、障害者自らが情報を収集し、選ぶためのガイド。	21分
同和問題と人権～あなたはどうか考えますか～	2008年	(財)人権教育啓発推進センター	同和問題	休日を利用して友一の実家に帰る道すがら、故郷の話がキッカケとなり、みんなで同和問題について話し合うことになりました。部落差別、同和問題についての印象や考えはみんな様々で、父母の体験も聞いて知識を深めることにしました。	28分
めぐみ (アニメ)	2008年	政府拉致問題対策本部	拉致問題	昭和52年、当時中学1年生で北朝鮮により拉致された横田めぐみさんの家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いたものです。	25分
介助犬とくらすまでに知ってほしいこと	2009年	「24時間テレビ」チャリティー委員会	障がいのある人	障がいのある人が介助犬を希望してから認定を受けるまでについて。障がいがあるからといって、周りの人に気兼ねをしたり、諦めるのではなく、介助犬と一緒に新しいことにチャレンジしてみようという一歩を踏み出すためのガイド。	36分
インターネットと人権	2010年	東映株式会社教育映像部	インターネット	インターネットに関して起こっている幾つかの実際の人権侵害を取材し、事件の背景やインターネットの特性について考えていきます。そして、情報化社会のなかで人権と向き合うために私たちがどうすべきかを探ります。	22分

作品名称 (タイトル)	制作年度	製作者	人権課題の分類	作品の概要 (主なストーリー)	上映時間
全国犯罪被害者の会 (あすの会) 10年の歩み	2010年	全国犯罪被害者の会	犯罪被害者	全国犯罪被害者の会 (あすの会) の10年の歩み	37分
青山繁晴氏が語る拉致問題「忘れたらアカン 拉致被害者の救出を」大阪府民集会	2010年	大阪ブルーリボンの会	拉致問題	海を越え北朝鮮へ届け! この思い!!	2時間58分
調べられた土地 避けられた地域 ～土地差別調査の根絶に向けて～	2011年	同和問題解決 (部落解放) ・人権政策確立要求大阪実行委員会	同和問題	2007年に大阪で発覚した「土地差別調査事件」について、実際の報告書や調査員のインタビューなどで、事件の概要を説明。事件を生み出す府民の意識やその背景にある問題点などを識者のインタビューで解説しています。「土地差別調査」の根絶に向けて、職場や地域でぜひご活用ください。	20分
なぜ企業に人権啓発が必要なのか	2014年	東映株式会社教育映像部	その他	「企業にとって人権啓発とは?」企業にとっての人権啓発とは何なのでしょう。具体的な人権課題を並べてみましょう。頭では、差別や偏見なく、人権に配慮して行動しなければいけないと知っているとは思いますが、では、自分の日々の業務の中で、何ができるのでしょうか。この教材は、人権啓発を考えるためのヒントを、企業を舞台に日常の会社生活の一コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、あらためて考えていただくための素材としてご活用いただけるよう制作しました。	22分
すべての人々の幸せを願って～国際的視点から考える人権～	2015年	株式会社桜映画社	人権全般	世界には、性別や人種、皮膚の色の異なる人々、大人や子ども、障害のある人など、一人ひとり違いを持ったたくさんの人たちが暮らしています。すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る、平和で豊かな社会を実現するためには、私たち一人ひとりが人権に対する理解を深め、相手の違いを認めつつ、同じ一人の人間として相互に尊重し合うことが必要です。	35分
ワークショップをはじめよう 参加型の人権教室	2015年	公益財団法人人権教育啓発推進センター	人権全般	参加者自らの知識や体験をもって積極的に関わるワークショップの手法を取り入れた人権啓発学習の機会が広まってきています。本書は、ワークショップに参加する一人ひとりが人権の大切さに気づき、理解と行動を促すための教材として、指導者の皆様がワークショップを理解するために活用するものです。	54分
未来を拓く5つの扉 ～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～	2015年	公益財団法人人権教育啓発推進センター	人権全般	全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介します。 中学生が作文の中でつぶやいている言葉に、あなたも耳を傾けてみてください。それが、きっと、新しい明日への一歩につながっていくでしょう。	41分
同和問題 ～過去からの証言、未来への提言～ ～未来に向けて～	2015年	東映株式会社	同和問題	我が国固有の人権問題である同和問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等のさまざまな団体における人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべき同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分りやすく簡潔にまとめています。	61分 (人権教育・啓発担当者向け) 19分 (一般向け)

作品名称 (タイトル)	制作年度	製作者	人権課題の分類	作品の概要 (主なストーリー)	上映時間
ハンセン病問題～過去からの証言、未来への提言～家族で考えるハンセン病	2015年	公益財団法人 人権教育啓発 推進センター	ハンセン病	この教材は、ハンセン病問題に焦点を当て、国や地方公共団体、企業等の人権教育・啓発に携わる職員等が身に付けておくべきハンセン病問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心に分かりやすく簡潔にまとめています。また、広く一般市民を対象とした啓発現場においても使用できる有効なツールとなる映像も併せて制作し、次世代へ伝承しようとするものです。	56分 (人権教育・啓発担当者向け 20分 (一般向け)
あなたがあなたらしく生きるために 性的マイノリティと人権	2015年	公益財団法人 人権教育啓発 推進センター	セクシュアル・マ イノリティ	性・セクシュアリティはとても多様です。しかし、それをしっかり理解している人はごくわずかでしょう。そのため、性的マイノリティの多くが、生きづらさを感じています。誰もがありのまま受け入れられ自分らしく生きたいと望んでいます。そんな社会を実現させるためには、まず相手を正しく理解し、偏見や差別をなくす必要があります。この教材は、性的マイノリティについて人権の視点で理解を深めるのがねらいです。性的マイノリティの入門編としてご活用ください。	30分
防ごう 高齢者虐待 日常の介護から考える	2015年	東映株式会社 教育映像部	高齢者	①妻の介護をする夫の場合 老老介護の現場から ②母を介護する娘の場合 認知症介護の現場から ③母の介護をする息子の場合 介護と仕事の間で ④高齢者虐待を起こさないために	28分
ワークショップをやってみよう 参加型の人権教室	2016年	公益財団法人 人権教育啓発 推進センター	人権全般	参加者自らの知識や体験をもって積極的に関わるワークショップの手法を取り入れた人権啓発学習の機会が広まってきています。本書は、ワークショップに参加する一人ひとりが人権の大切さに気づき、理解と行動を促すための教材として、指導者の皆様がワークショップを理解するために活用するものです。	17分50秒
無関心ではいけない！ 障害者の人権 障害者差別解消法を理解する	2016年	株式会社 映学社	障がいのある人	・ 障害を理由にした直接差別 ・ 障害を理由にしない間接差別 ・ 合理的配慮を怠った場合	24分
外国人と人権 違いを認め、共に生きる	2016年	公益財団法人 人権教育啓発 推進センター	外国人	このDVDは、外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切に人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えるものです。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのかを学びます。	33分
インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために	2016年	公益財団法人 人権教育啓発 推進センター	インターネット	インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし一方で、インターネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけでなく、意図せず加害者にもなることも少なくありません。本DVDは、主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用法・対策について、わかりやすくまとめました。	30分

作品名称 (タイトル)	制作年度	製作者	人権課題の分類	作品の概要 (主なストーリー)	上映時間
わたしたちが伝えたい、大切なこと —アニメで見る 全国中学生人権作文コンテスト入賞作品—	2016年	公益財団法人 人権教育啓発 推進センター	その他	このDVDでは、「全国中学生人権作文コンテスト」入賞作品に基づいて制作されました。どの作品も、日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描いています。入賞作品を原作とした3つのアニメーションを通して「人権ってなんだろう」と、自分自身の問題として考えてもらうことを目的としています。	31分
誰もがその人らしく —LGBT—	2017年	東映株式会社 教育映像部	セクシュアル・マイノリティ	気づいて一歩ふみだす人権シリーズ④この作品は、主人公が見えなかったLGBT（性的少数派者）の人たちが見えてくるストーリーです。LGBTの人たちに対する社会の偏見はまだ強く、存在していてもなかなか見えない、その存在を見いだしにくいのが現状です。しかし、各種の統計からも明らかのように、LGBTの人たちは確かに存在し、偏見や差別に苦しんでいます。	20分
国及び地方公共団体の責務とは ～らい予防法と無らい県運動～	2018年	社会福祉法人 ふれあい福祉 協会	ハンセン病	「らい予防法」のもとで、戦前・戦後と続いた「無らい県運動」。国の指導のもと、ハンセン病隔離政策で地方公共団体が果たしてきた役割と責任は大きい。残された行政資料とハンセン病回復者と家族の証言から国・地方公共団体が何をしてきたのかを明らかにし、国及び地方公共団体が早急に取り組むべき課題について考えます。	52分
企業と人権 職場からつくる人権尊重社会	2018年	公益財団法人 人権教育啓発 推進センター	その他	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。こうした「人権問題」への対応は、時として企業の価値に大きく関わります。そのため、人権尊重の考え方を積極的に企業方針に取り入れたり、職場内で人権に関する研修を行う企業も増えてきています。このDVDは、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマ取材、解説も交えて構成しています。	40分
部落史学習DVDシリーズ〈歴史編〉『近代 日本社会と部落問題』『良き日のために—全 国水平社80年の闘いに学ぶ—』	2018年	大阪人権博物 館	同和問題	このたび、各方面からのご要望にお応えし、部落史学習ビデオのうち6作品を「歴史編」「身分と生業編」「芸能と文化編」として販売することにいたしました。作成年代は古いものもありますが、博物館資料と独自の資料調査に基づく作品ばかりであり、現在でもその内容は色あせていません。部落史学習DVDシリーズをぜひとも活用いただき、部落史学習にお役立てください。	46分 25分
障害のある人と人権誰もが住みよい社会をつ くるために	2018年	公益財団法人 人権教育啓発 推進センター	障がいのある人	障害のある人もない人も誰もが住みよい社会をつくるためにはどうしたらよいのでしょうか？このDVDでは、障害のある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取組などを紹介し、「障害のある人と人権」について考えていきます。	32分33秒
わたしらしく あなたらしく 多様な性を生 きる	2019年	世界人権宣言 大阪連絡会議	セクシュアル・マイノリティ	多様な性を生きる	38分
ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思 い～	2020年	公益財団法人 人権教育啓発 推進センター	ハンセン病	隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。	34分

作品名称 (タイトル)	制作年度	製作者	人権課題の分類	作品の概要 (主なストーリー)	上映時間
第10回WILLプロローグ 第7回 WILL	不明	少年犯罪被害 者当事者の会	犯罪被害者	第10回WILLプロローグ 第7回 WILL	32分